

# 労災ケア通信

第57号

平成28年11月20日

発行：一般財団法人  
労災サポートセンター

〒102-0073  
東京都千代田区九段北4-1-3  
飛栄九段北ビル10F

TEL 03-6834-2510(代表)  
FAX 03-6834-2530

ホームページアドレス  
<http://www.rousaic.or.jp>



## 「第12回労災重度被災者」

## 作品展」を仙台市で開催

財団では、平成28年10月19日から21日までの3日間、仙台市にある「みやぎ産業交流センター（夢メッセみやぎ）」本館会議棟大ホールにおいて「第12回労災重度被災者作品展」（リハビリからアートまで）を開催しました。



この作品展は、中央労働災害防止協会が主催する全国産業安全衛生大会に合わせ毎年開催しています。

今年も、53名の方々から123点の作品が展覧され、そのうち富谷、四街道、瀬戸、堺、呉、新居浜、宇土のケアプラザの入居者44名の方々から90点の作品が寄せられました。

展示会場には、ケアプラザ富谷の入居者をはじめ作品を出展されたご本人やその家族、全国産業安全衛生大会に参加された企業の安全衛生担当者など594名の方々が来場され、作品を熱心に鑑賞されていました。

今回の作品展に作品を出展していただいた方々、出展にあたりご協力いただいた各施設の職員の皆様、また、ご

来場いただきました皆様にご心よりお礼申し上げます。  
今回は、紙面の都合上、作品の展示状況と鑑賞風景のみ掲載させていただき、次号で出展作品を紹介させていただきます。



出展作品の展示風景



鑑賞風景

安全と安心の介護を目指して

『会長のケアプラザ宇土訪問』

本部 企画調整部

10月17日、当財団の馬杉会長は、「平成28年熊本地震」による被害や復興状況を確認するため、ケアプラザ宇土を現地訪問しました。

施設では、施設長の案内で建物や設備の損傷箇所や修復箇所を現認し、職



職員に挨拶する馬杉会長



施設長から被害状況の説明を受ける馬杉会長

員を集め労いの挨拶を行いました。  
なお、建物の根幹に係る損傷の修復については、委託者である国に要求することとしています。

『感染予防対策 手洗いについて』

ケアプラザ堺

介護課 和田敏典

平成28年9月27日、リブドゥコーポレーション(株)の講師による「手洗いについての講習(実技)」が行われました。



講習会の実技の様子

普段丁寧に手洗いをしているつもりが、親指・指先などの洗い残しがあり、今後、感染予防も含め徹底した手洗いをしたいと思いました。講義を聴き、実技し、大変勉強になりました。今後の介護に生かしたいと思います。

『消防訓練』

ケアプラザ新居浜 総務課

消防訓練が8月31日午後、消防署職員の立ち会いの下、施設職員19名、管理業者5名、入居者様17名計41名の参加で行われました。2階厨房から出火したとの想定で、実際に避難スロープを使用して、椅子での避難を迅速かつ安全に行うことができました。



避難訓練の様子

避難訓練終了後は、施設職員が水消火器と消火栓を使った消火訓練を行いました。初期消火の方法について学びましたが無い事を祈りつつ、万が一の際は被害を最小限にとどめることができるよう、今回学んだことを活かしていきたいと思えます。

『救急法等講習会』

ケアプラザ宇土

介護課 村上啓二

8月の暑い中、地元の宇城消防署職員による救急法等講習会が熊本施設の会議室で行われました。

施設側からは介護課職員、事務職員、委託業者さんの多数が参加しまし



消火訓練の様子



消防署職員から指導を受ける職員

た。講習会では最新の方法により、改めて多くのことを学ばせて頂きました。また参加者全員が大粒の汗を流すほど、熱心な指導を行って頂きました。今後、万が一のことが発生した場合に充分な対応が行うことができると思います。消防署職員の皆さま、本当にありがとうございました。

### 入居者だより

#### 『ケアプラザに入居して』

ケアプラザ岩見沢

入居者 今井 宏

昨年施設を見学する機会があり、訪ねました。

怪我をして不自由な生活が始まったのは9年前で、自宅生活をしていましたが、制限される毎日を送っていました。



家族4人で納涼祭に参加

開放的なリハビリ空間や充実している設備、職員の皆様にお会いして、自分の生活を変えることが出来ると思ひ、入居を決めました。

まだ半年が過ぎたばかりですが、充実した毎日を過ごしています。諸行事にも参加して楽しみも増え、納涼祭では家族と一緒に楽しむことができました。

お世話をする皆様は大変なお仕事ですが、一生懸命接してくださることに感謝の気持ちでいっぱいです。

#### 『初秋のバス旅行に参加して』

ケアプラザ岩見沢

入居者 牧島 博

9月7日、昨年に続き私自身2回目となる「ツツカ余市蒸留所」のバス旅行に参加しました。

左には赤や黄色に色付き始めた手稲連邦、右には波穏やかな日本海、道内屈指の観光地小樽運河を眺めながら、約一時間半程度で目的地に到着しました。

楽しみにしていた昼食の海鮮丼と生ビールに舌鼓を打ち、試飲コーナーのウイスキーを味わい、夢中でお土産を買い込んでいるうちに帰る時間となりました。

帰り道は、道の駅「スペースアップル余市」でアイスクリームを食べ、海

外からの観光客で賑わう小樽堺町通りを経て施設に到着しました。普段とは一味違う一日に大満足、来年のバス旅行が今から楽しみです。



お土産を選ぶ牧島さん

### ケアプラザだより

#### 『新居浜太鼓祭り』

ケアプラザ新居浜 総務課

新居浜太鼓祭り初日の10月16日のお昼前、ケアプラザ新居浜のある多喜浜地区の太鼓台3台が当施設を訪れ、豪華絢爛、勇壮華麗な雄姿を披露してくれました。太鼓台は、金糸銀糸で刺繍された飾り幕で覆われた高さ5.5メートル、重さ2.5トンの巨大な神輿で、約150人の男で担ぎ上げます。

「どんでんどん、どんでんどん」と

腹に響く重低音の太鼓の音が聞こえ出すと、入居者のみなさんは太鼓台の近くに集まり、年に一度のお祭りを堪能していました。



太鼓祭りの様子



『大納涼祭』

ケアプラザ呉  
行事運営委員会

8月3日(水)に第17回「大納涼祭」を開催しました。

今年も広島国際大学看護学部のご協力をいただき、普段施設職員以外と接する機会が少ない入居者の皆さんに、浴衣姿の学生さん達と大変貴重な時を過ごしていただくことができました。

また、平口にもかかわらずご家族の方にもご参加いただき、入居者の皆さんには、学生さん達による歌の披露やお楽しみ抽選会の開催、また、職員による屋台での「サイコロステーキ」や「おでん」などを食べていただき、歌あり笑いありの大盛り上がるの納涼会でした。



浴衣姿の学生さんと楽しむ入居者の皆さん

『納涼祭を終えて』

ケアプラザ岩見沢 総務課

8月3日(水)、今年も民謡ボランティアや学生ボランティアなど、多くのボランティアの方々協力していただき、無事に納涼祭を終えることができました。

北海道の七夕が1ヶ月遅いこともあり、会場の飾りつけは七夕飾りを中心に、縁日コーナーでお祭りらしさを演出しました。



民謡ステージの様子



ビンゴ球を使っの福引

開催時間は13時30分～15時までと短いです。家族を交え、民謡ステージや縁日のゲーム、綿あめやかき氷などで、夏の一時を楽しんで頂きました。

『公民館まつりに参加して』

ケアプラザ富谷 総務課

爽やかな秋晴れの10月15日、地元富谷市の公民館祭りが開催され、宮城県車イスダンス協会の方々と一緒に、車



公民館まつり発表会  
集合写真

入居者さんの参加の様様



イスダンス発表という形で参加してきました。

この祭りには平成23年度から続けて参加しており、今年も入居者さん及び職員11名で晴れ舞台に立ち、ダンスを2曲披露してきました。初めはカチコチに緊張していた私達でしたが、会場から暖かい声や拍手を頂き、次第に笑みがこぼれ、楽しくダンスができました。参加入居者さんからは「先生と一緒に踊れて夢のよう」「初めて参加できて良かった」という感想がありました。最後はマカレナのダンスを地元富谷市の皆さんと共に踊り、大きな達成感を味わうことができました。

『労災重度被災者作品展』

ケアプラザ富谷 総務課

10月18日、宮城県夢メッセで開催されている第12回労災重度被災者作品展を鑑賞してきました。鑑賞者は、作品の出展者6名の入居者さんです。皆さん、自分の作品が展示されていることもあり、大変楽しみにしていたようです。

当日は、会場に着き、まず自分の作品と対面、皆さん嬉しそうに鑑賞していました。作品と記念撮影をしたり、他の方の作品を見て創作意欲が湧く入居者さんもありました。偶然、海外の鑑

賞者と一緒になり、普段縁のない国際的な雰囲気味わう印象深い体験もありました。最後は、会場の隣のカフェでコーヒーを味わい、穏やかな晴天の中、車中から景色を楽しみながら、施設に帰りました。



会場前での集合写真



作品と入居者さん

『一夜の夜の夢』

ケアプラザ堺

総務課 長瀬 智仁

皆さんは、「月下美人」という植物をご存知ですか？

僅か1日しか咲かず、しかも人が寝静まった真夜中にひっそりと咲いて日が昇る頃には萎れてしまう美人薄命という言葉を連想させる植物です。今年も入居者の山本信正さんが丹精込めて育てた月下美人が見事に咲きました。



見事に咲いた月下美人

『秋祭りの付き添い』

ケアプラザ岩見沢

ボランティア(元職員) 山本 澄子

9月14日～16日は岩見沢神社の秋祭りでした。

退職後は施設行事で何度かお手伝いすることがあり、今年も14日に入居者の方々とお祭り見物に参加させて頂きました。

神社の周り300メートルほどの道路を挟んで露店が開かれ、射的、くじ引きなど、皆さん笑顔で楽しまれました。

お土産にホットドックや綿あめを買い、私も一緒に楽しい一時を過ごさせて頂きました。



引率する山本さん(右)



くじ引きのお手伝い

『喫茶ツアー』

ケアプラザ瀬戸

介護課 白木原 泰邦

8月17日(水)喫茶ツアーを開催しました。

施設近くのお店に行き、日頃慌ただしい1日を過ごしているのとは違い、落ち着いた雰囲気の中ゆったりとした気持ちで、美味しいコーヒーを飲みながら、開催されているリオオリンピック

クの話や、昔の思い出話で盛り上がり皆さん大変満足され、普段と違う楽しい時間を過ごしました。



ツアー参加の皆さん

『グルメツアー』

ケアプラザ堺

介護課 藤井 稔

今回初となる企画「グルメツアー」を開催しました。

普段食べることのできないような、少し贅沢な食事をしようという企画で、第1回は「ステーキレストラン」に行きま



ツアー参加の皆さん

した。目の前の鉄板で焼いてくれるステーキの音と香りに、皆さん大変喜ばれていました。

### 『残暑』

ケアプラザ堺 総務課

大阪では、10月第1週まで30度を超えていた最高気温が、2週目に入ると25度を下まわり、朝晩は少し肌寒いくらいになりました。

そんな急激な温度変化に草花もついていけないのか、入居者の山本正和さんが育てている「朝顔」が今日も元気に咲いています。



元気に咲いた朝顔

### 訪問者だより

### 『小学生の施設見学』

ケアプラザ宇土

総務課 立山和男

去る6月23日(木)、施設に隣接する宇土東小学校の5年生が学校行事の

「ケアプラザ宇土見学」にきました。

最初にケアプラザの説明を行い、その後施設内見学でほぼ全館を回りますが、初めての事ばかりで、施設担当者の説明を熱心に聞き入っていました。見学が終了する頃には緊張もほぐれ笑顔いっぱい表情で小学校へ戻って行きました。

後日、ケアプラザの内容がしっかりと特集された小学校新聞を頂きました。これからもいろいろな事をたくさん学んで頂きたいと思えます。



説明を聞く小学生



特集された小学校新聞

### 『キャリア・スタート・ウィークの受入れ』

ケアプラザ呉 総務課

ケアプラザ呉では、中学生の職場体験である「キャリア・スタート・ウィーク」の受入れに協力しました。

キャリア・スタート・ウィークは、呉市が平成19年度から行っている「職場体験」事業で、今年も、呉市立昭和中学校から2年生の生徒2名が来られました。

4日間という短い期間でしたが、生徒たちは車椅子の使用方法やシーツ交換、食事で使用するお皿やスプーン(自具)の違いなどを熱心に勉強していました。

また、入居者の方々と一緒にオセロやカラオケも楽しんでいました。参加した生徒さんからは、「ケアプラザで介護に係る貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。来て良かったです。」といった感想が寄せられ施設として協力できたことを大変うれしく思っています。



職場体験した生徒さんと記念撮影

### 『納涼祭を終えての感想』

千葉労災看護学校

2年 佐久間 将人

私が納涼祭にボランティアとして参加させて頂くのは今回で3回目となります。

当日は天候が心配でしたが、会場の熱気に後押しされたかのように空にも晴れ間がのぞき太鼓の演奏や演舞を披露するボランティア団体の方々が入っていました。

盆踊りでは、私たち学生ボランティアも入居者や職員の方々と一緒になって一つの輪を作り楽しんだことが印象に残っています。楽しいひと時を過ごすことができましたと思っています。

今年度も納涼祭に参加させて頂いたことに大変感謝申し上げます。ありがとうございました。



佐久間さんと入居者さん